

子どもだけで 舞台つくるろう

ことで成長してもらおうという試み。8月1日には出演者オーディションを予定しており、実行委員会は意欲のある子どもの参加を呼び掛けている。(今井珠世)

弘前で10月公演

弘前市で10月、子どもが主役となる舞台公演を行う企画が動き出している。大人は出演せず、子どもたちが主体的に参加、みんなで一つの作品をつくり上げる

ダンサー&パフォーマー「DREAMER」

来月オーディション

公演名は次世代ダンサー&パフォーマーの舞台公演「DREAMER」。FUNKY STADIUMの岩瀬伸雄代表が中心となって実施主体となる「ひろさき芸術舞踊実行委員会」を組織し、10月20、21日に弘前市のスペースデナガで計4回の公演を予定している。

出演する子どもたちには42回にわたる練習が予定されており、みんなで一つの作品をつくり上げることで大きく成長してもらうことが狙い。長期的には年一回の公演を継続していく中で、振り付けや構成を考えられる若手の育成とともに弘前独自の舞台芸術を創造したいという思いもある。

初回公演の出演者オーディションに参加できるのは小学生から高校生までの男女。1人1分のアピールタイムと面接で12人を選ぶ。

事務局では「ダンスは初心者でも構わない。何か一つでも特技や好きなこと、アピールできることがあつてやってみたいという意欲があればぜひオーディションを受けてほしい」と呼び掛けている。

2012.7.5(木)

陸奥新報